

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	川西市参画と協働のまちづくり推進会議 令和元年度第6回A部会		
事務局(担当課)	総合政策部 参画協働課		
開催日時	令和2年2月17日(月) 午後6時00分から午後8時10分		
開催場所	川西市役所 7階 大会議室		
出席者	委員	藤本真里(部会長)、加門文男、田中真、名木田絢子、西村牧子、三善知子、乾美由紀	
	その他	参画と協働のまちづくり研修生	
	事務局	総合政策部参画協働課 課長、課長補佐、同課主任2名	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p>(1) A部会のテーマ</p> <p style="padding-left: 40px;">「(地域・市民活動に対して、)やる気があり積極的だが 取り組めていない人を巻き込んでいくには」</p> <p>3 閉 会</p>		

1 開 会

○事務局

本日は、市職員研修の一環として、11名の職員が参加する。後程、トラップカードの作成や委員との意見交換などに参加させていただきたい。

○委員及び研修生の自己紹介

2 議 事

(1)「(地域・市民活動に対して、)やる気があり積極的だが取り組めていない人を巻き込んでいくには」

○藤本部長

- ・ 本日は、3月の全体会に向けて発表の準備を行いたい。これまでの議論をまとめると、
現状・課題
解決のためのトラップカード作り
カードの見方・活用法
例示のカード集
の4つに整理できる。「現状・課題」については、私で整理してきている。
- ・ みなさん前回発表できていないアイデアや整理されてきたものがあれば共有したい。

○加門委員が、コミュニティの当事者として課題解決の糸口となるまとめを提供

○田中委員が、トラップカードに記載するキーワードの一覧を提供

(各委員の意見)

- ・ 裏面(団体側)の記載例は、こういったメッセージが書いてあると、表面(参加側)が参加しやすいし、団体側の活動の見直しにもつながる。
- ・ 団体側は、自分か活動を始めたころを思い出して、そのきっかけなどを書いてほしい。

○藤本部長

- ・ 「 例示のカード集」は、今提供されたものを参考にまとめていけばいいと思う。「 解決のためのトラップカード作り」と「 カードの見方・活用法」をどのようにまとめていくか。

(各委員の意見)

- ・ と は、報告会でワークショップを実演してみるのはいかがでしょうか。文章でまとめるより伝わりやすいと思う。
- ・ はトラップカードの考え方・コンセプトとカード作りにかける思いなど、 の課題を受けて解説策としてトラップカードを示した理由などをまとめる。
- ・ はカード単体の見方と具体的なシチュエーションの下での活用方法やカードを作ることの意義などをまとめる。表面(参加側)・裏面(団体側)両方の立場で活動を考えるきっかけになる。
- ・ は研修生にも参加してもらいたい。市民との関わりで気付いたことや自身の体験からサンプルを作成してほしい。

○各委員と研修生が作成作業

- ・ 藤本部長： を作成。
- ・ 名木田委員・西村委員： を作成。
- ・ 田中委員・乾委員： を作成。
- ・ 加門委員・三善委員： を研修生と作成。

○研修生が作成したトラップカードを発表

○名木田委員・西村委員が作成した を発表

- ・ ターゲットとする人に「手に取ってもらう」ことを重視した、トラップカードのスタイルとなった。
- ・ カードを読んだ人が参加したくなる内容を、団体側に考えて自分たちで作ってもらう。

○田中委員・乾委員が作成した を発表。

- ・ カードのサンプルを示して、項目ごとに見方を説明する。
- ・ カードは、団体側に当事者の立場で作成してもらい、両面印刷して使用する。
- ・ 表面は、参加してほしい具体的なターゲットを想定して、モヤモヤ(悩み)を記載してもらう。
- ・ 裏面は、グループの趣旨、特徴、時間、有償無償、団体にたどり着きやすい検索方法(QRコードなど)を記載してもらう。
- ・ いずれも「参加したころの自分を振り返って」考えてもらうことが大切である。
- ・ 活用方法は、イベントで配布、広報誌に掲載、掲示板に貼る、施設に設置など。

(次回発表に向けての準備)

- ・ この資料(パワーポイント)をベースに、キーワードだけではわからない説明の部分を文章化して報告書を作成する。
- ・ 今後の展開(4月以降にワークショップ)については、藤本部長が整理する。
- ・ 各委員が作成したパワーポイントの取りまとめは、西村委員が行う。
- ・ 発表については、各パートを作成した委員が分担して行う。
- ・ については、サンプルカードを3つほど掲載する。現状の2パターンに加えて、名木田委員が、新たに「若い男性パターン」を作成する。また、ターゲットごとに整理したテキストの一覧を田中委員が作成する。
- ・ トラップカードのサンプルは、事務局で両面印刷のうえ報告会でも配布する。

(4月以降のワークショップについて)

○乾委員

- ・ 多田東コミュニティの会議でトラップカードの話をしたところ、みんな興味を持ってくれた。特に福祉委員会が今年の6月から新しい取り組みを始めるにあたり、活動してくれる人を募りたいと考えており、ワークショップに前向きである。
- ・ 取り組みのスタートは6月だが、福祉委員会は3月にチラシを作る予定で、ワークショップもす

ぐにやりたい様子であった。

(各委員の意見)

- ・ いいタイミングなので、多田東でやってみようと思う。
- ・ 時期は、福祉委員会のメンバーが参加しやすい日程を乾委員に確認いただきたい。
- ・ 4月にワークショップ、5月にそのまとめをして、6月の全体会で発表というスケジュールで進めていく。
- ・ 一度ワークショップをする前に福祉委員会の方とお話して、ワークショップの段取りなど相談のうえで、本番のワークショップを行いたい。

3 閉 会

次回の全体会は、3月18日(水)の18時半からで、会場は大会議室。